



平成 28 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社サハダイヤモンド
 代表者名 代表取締役社長 姜 杰
 (コード: 9898、東証 JASDAQ)
 問合せ先 IR戦略室室長 井上 喜明
 (TEL. 03-3846-2061)

通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、直近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 5 月 20 日付「平成 28 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました平成 29 年 3 月通期連結業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,418	百万円 10	百万円 △7	百万円 △44	円銭 △0.12
今回発表予想(B)	1,745	△100	△130	△118	△0.33
増減額(B)－(A)	△2,673	△110	△123	△74	△0.21
増減率(%)	△60.5	－	－	－	－
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	百万円 3,393	百万円 △398	百万円 △401	百万円 △556	円銭 △1.66

2. 修正の理由

(海外事業)

当初の予測では海外子会社維真珠宝(上海)有限公司が運営する中国のジュエリー11店舗では更なる商品開発と、集客を行い小売販売の売上高227百万円、卸販売も取引先業者を増やし積極的に取組み卸販売では714百万円を目指しておりましたが、中国経済の悪化から平成28年6月29日付で、当社の連結子会社である維真珠宝(上海)有限公司の株式を億匯通投資実業(上海)有限公司に譲渡したため、当第1四半期連結会計期間より連結対象子会社から除外することとなりました。そのため、売上高は0百万円と修正を行います。

(ダイヤモンド事業)

当初の予測では当社の子会社株式会社バージンダイヤモンドは、ブライダルジュエリーを中心として新たな商品の拡充を図り、インターネット及び広告宣伝に力を入れブライダルジュエリー及び高額品の販売を積極的に販売し、売上高230百万円と予想してまいりましたが、平成28年3月に発行した新株予約権の行使が進まないため、資金的事情から広告宣伝等の支出を抑えざるを得ず売上高は低迷すると鑑み売上高は23百万円に修正を行います。

(ダイヤモンド研磨事業)

当初の予測では当社の海外子会社公開型株式会社サハダイヤモンド(ロシア)は原石の確保及び自社研磨生産量を増加させることに加え平成28年3月期第4四半期は受注が徐々に回復しつつありましたので売上高3,006百万円を予想しておりましたが、当業界は昨年来の世界的な不振から脱却しつつありましたが、依然として受注額は低迷しており且つ為替レートがルーブルに対して円高傾向が続くみられることから、売上高予想は1,575百万円に修正を行います。

(トレーディング事業)

当初の予測では新たに宝飾品を中心とした免税品を訪日外国人向けに販売していくことを目的とした免税品販売を本年9月頃の開始を前提として売上高136百万円の販売を予想してありましたが、調査等の準備に時間を要しており、当初9月頃に予定されていた事業の開始が今年度の後半にずれ込む見通しになる予定となる見

込みなので売上高予想は79百万円に修正を行います。

(不動産賃貸事業)

当初の予測ではテナントの全室貸出しを目標として103百万円を予測しておりましたが、ロシア経済の不況もあってロシア連邦サハ共和国の賃貸用不動産の収益が低迷し、かつ為替レートがルーブルに対して円高の傾向が続いていることを勘案し、本社ビルのテナント事業と合わせても昨年より売上高は減少する見込みでとなり、不動産賃貸事業の売上高予想は68百万円に修正を行います。

売上高の減少に伴い、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益も当初計画を下回る見込みとなっております。

以上の理由により、平成29年3月通期連結業績予想を修正することといたします。

以 上